

OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



小樽商科大学広報誌

vol.188

2020 AUTUMN

GAKUEN DAYORI

小樽商科大学 学園だより



● CONTENTS ●

新任教員のご紹介.....	1
「緑丘会」及び「小樽商科大学後援会」による 緊急給付型奨学金に係る贈呈式を挙行.....	1
学長からのメッセージ.....	2
公益社団法人 緑丘会の紹介.....	3
キャリア支援センター開催イベント.....	4

“小樽テイクアウト” 活躍中！.....	5
樽笑だよりを発行しました！.....	5
体育常任委員会の活動について.....	6
ピアサポートルームのお知らせ.....	6
アルコールと安全につきあいましょう.....	7
特別修学支援室と学生何でも相談室のご案内.....	7
編集後記／商大くんが行く！.....	7

新任教員のご紹介

①出身地 ②研究分野 ③担当授業科目 ④趣味
⑤商大に着任しての感想 ⑥商大生に期待すること



令和2年度4月に小樽商科大学に着任された、4名の教員の方々を紹介するよ！
みんな、先生方の名前と顔を覚えてね！



CGS グローカル教育部門 ^{こばやし}小林 ^{こうじ}広治 准教授

①岡山県岡山市 ②スポーツ経営学・政策学・社会学 ③ Japanese Companies in Global Business, Introduction to Japanese Management, Glocal Seminar ④スポーツ観戦・旅行・探究 ⑤私の所属するグローバル戦略推進センターは、国際経験や実務経験豊富な方々が多くいらっしゃるの、これからどのような企画に関わることが出来るのを楽しみます。 ⑥小樽から世界に飛び立ってください。Where there is a will, there is a way!



CGS グローカル教育部門 ^{もりや}森谷 ^{りょうた}亮太 講師

①栃木県那須烏山市 ②障害学、色覚問題研究、言語教育におけるアクセシビリティ研究 ③英語ⅠD、英語ⅡA4、基礎ゼミナール、Glocal Seminar、事情科目 ④植物を育てること、走ること、空を飛ぶこと ⑤緑に囲まれて居心地が良い反面、坂の上の坂のあるキャンパスなので、アクセシビリティをどうあげていくかが課題だなと感じている。 ⑥留学、英語学習、カナダ、障害学など、もし少しでも興味があるなら、いつでも気軽に研究室に遊びにいらしてください。



商学部一般教育系 ^{すな}須永 ^{まさふみ}将史 准教授

①福島県郡山市 ②社会学、ジェンダー論、エスノメソドロジー・会話分析 ③社会学系科目 ④ベース・ギター・登山 ⑤まだ学生に直接会っていないので何とも言えませんが、まじめで実直な学生が多いように思います。 ⑥社会学は面白い学問です。興味を持っていれば幸いです。



商学部一般教育系 ^{みや}宮田 ^{けん}賢人 准教授

①神奈川県川崎市 ②法哲学・法理学(聞き慣れない分野かもしれませんが、法学と哲学と倫理学を足して3で割ったような分野です) ③哲学・倫理学・基礎ゼミナール ④散歩 ⑤真面目で勉強熱心な学生がとても多いと感じています。大学生時代の私とは大違いです。また同窓会活動がとても活発なことも印象的でした。 ⑥「大学生」という身分は、(犯罪や著しく反道徳的な行為以外は)何をやっても・どんな失敗をしても許される特権の身分だと思いますので、それを利用し、ぜひ果敢に(ときには無謀に)新しいことにチャレンジしてもらえればと思います。

「緑丘会」及び「小樽商科大学後援会」による 緊急給付型奨学金に係る寄附金贈呈式を挙

令和2年6月5日(金)、本学事務棟2階会議室にて、「新型コロナウイルス対策緊急給付型奨学金」に係る寄附金贈呈式が執り行われました。この奨学金は、コロナ禍で学費負担者の収入が減少、アルバイト先が休業するなどの理由で収入が激減し、学業の継続に支障をきたしている学生に対する経済支援策として、1名あたり3万円を給付する本学独自の給付型奨学金制度です。

本学の財政状況は大変厳しく、自己財源だけではこの支援策を講ずることは困難でしたが、「緑丘会」及び「小樽商科大学後援会」から本学へ、1,500万円の寄附をいただき、6月中の給付が可能となりました。「緑丘会」及び「小樽商科大学後援会」の島崎 憲明理事長は、「学生にできる限り早く給付金を支払えるよう、大学への支援を早急に決めた。同窓生として、お金だけではなく教育的な支援も含め、物心両面で大学を支援していきたい。」と挨拶され、穴沢学長に目録を手渡されました。また穴沢学長からは島崎理事長に今回の多大なご支援に対してのお礼と感謝状を贈りました。



学長からのメッセージ



新型コロナウイルスの感染拡大により、3月17日の卒業式が中止となり、4月2日の入学式も中止となりました。3月末に本学は前期授業の開始を5月7日に延期し、さらに当面の間、遠隔教育を行うことを決めました。本学にとっても、また、国内の他大学にとっても遠隔教育を本格的に行うことは初

めての経験でした。幸い、本学では他大学で見受けられたサーバーがダウンするような状況には至らず、比較的スムーズに遠隔教育を開始できたと思います。

大学としては学生の皆さんの受信環境を心配していましたが、受信環境が整っていない学生の数も少なく、用意していたポケット Wi-Fi などの貸し出しも予想したほどの数にはなりませんでした。本学の教員も初めての遠隔教育に向け、4月に開催した研修に参加するなど、多くの時間を割いてその準備にあたりました。

遠隔授業という慣れない授業形態に戸惑う人もいたと思います。特に1年生の皆さんは入学式が中止となり、オリエンテーションも対面から遠隔にかわり、キャンパスに来ることもできず、思い描いていたキャンパスライフとはかけ離れたものになっていると思います。2年生、3年生も授業形態が変わっただけでなく、部活やサークル活動も制限され、これまでとは全く違う大学生活になったと思います。また、4年生にとってはオンラインでの面接など例年と異なる就職活動となり、苦労も多かったと思います。

コロナ禍でアルバイト収入などが減少し、生活に不安を感じる人も多いと思います。5月下旬から6月にかけて、本学の同窓会である緑丘会並びに後援会からの支援を頂き、経済的に困窮する方々へ奨学金を給付することができました。同窓会の皆様に対して心より感謝の意を表したいと思います。また、これからも同窓会をはじめ様々な関係者からの支援を頂きながら、本学として経済的に困窮している学生の皆さんをできる限り支援していきたいと思っています。

キャンパス内に学生の皆さんの声がしないという異常事態が前期期間中続きました。私たちは先の見えない新型コロナウイルスとの戦いをいつまで継続するのか、その答えはまだありません。ただ、大きく社会が変わろうとしていることだけは確実に言えます。変化に柔軟に対応する能力が試されているのです。若い皆さんはデジタル化に素早く対応できていると思います。新しい時代に生きていることを実感しながら、日々の勉強に励んでください。

第11代 小樽商科大学長

沢 真

公益社団法人 緑丘会の紹介

公益社団法人 緑丘会 事務局長
永井 健夫 (1976年卒業)



学生の皆さん、こんにちは。小樽商科大学同窓会「緑丘会」のご紹介をさせていただきます。既にエバーグリーン講座のオリエンテーションなどでご存じの方や「緑丘会って何だ」と思う新入生の皆さんもいらっしゃることでしょう。

「緑丘会」とは小樽商科大学卒業の同窓生で組織されておりますが、学生の大半の方も既に緑丘会の会員（賛助会員）です。そして、我々の取り組みで最も大切にしている事が大学及び学生への支援です。大きくは三つの活動を行っております。

一つ目は学生への就職支援です。300社以上の企業を大学にお招きして行われる企業説明会や東京での就活体験会を学生支援課と協力して実施しております。また、学内に就職支援室を設置し、就職に関する相談をお受けしております。更には、就職ガイドとして「社会人基礎力白書」の作成も行っております。



オホーツク支部設立懇親会

二つ目は資金援助です。TOEIC・IP テストの受験費用、就活の資金貸与や、優秀な学生を対象とした奨励金の授与、留学生への奨学金授与なども行っており、小樽商科大学後援会と併せて年間2,000万円以上の助成を大学にさせて頂いております。

三つ目はOB・OGによる講座の提供です。30年以上続いているエバーグリーン講座とグローバルマネジメント副専攻プログラムⅡへの講師派遣を行っております。

その他、ご自宅に郵送される会報「緑丘」の発行があります。この会報には「緑丘 U-30」という若手OB・OGや学生が執筆するコーナーがあります。皆様のご寄稿をお待ちしております。また、一昨年の7月からホームページをリニューアルしましたのでご覧下さい。

さて、来年ご卒業される皆さんにお知らせします。3年前から緑丘会の主催で、学位記授与式終了後、学外で卒業祝賀会を開催しております。卒業生、教職員、OB・OGと絆を深める会です。残念ながら今年はコロナ禍の影響で中止となりました。来年の開催も予断を許しませんが、開催の折は是非ご参加頂きたいと思っております。

また、学生代表や留学生の方との意見交換会も実施しており、少しでも学生の皆さんの意向に沿った同窓会に行きたいと思っております。

ここまでが、皆さんが在学中に緑丘会と関わる事ですが、卒業後は、同窓生同士の交流を深めて頂きたいと思っております。北海道、東北、関東、東海、京阪神、福岡を含めて全国に24の支部が皆さんをお待ちしております。各支部では講演会、芋煮会、バーベキュー大会、忘年会、新年会、女子会など各種イベントで皆さんをお迎えし研鑽・親睦を図っております。

特に3年前からは東京にて島崎理事長が塾長となり、主に平成二桁卒業の若手を対象とした「緑丘ビジネス塾」を開講しております。各界で活躍されている先輩が講師となり、講義やディスカッションを通して社会人としての対処法などを解き明かしてくれます。昨年には札幌でもビジネス交流会がスタートしました。「小なれど絆が強い同窓会」です。就活などで東京に来られる際には、日本一高い（ところにある）池袋サンシャイン60の57階に事務所を構える緑丘会館に是非お越し下さい。スタッフ一同でお待ちしております。



札幌支部クリスマス会

キャリア支援センター開催イベント

(2020年9月～2021年3月開催分)

キャリア支援センターでは、インターンシップ及び就職活動支援を推進しています。特に就職活動支援では学生のみなさんの就職活動がスムーズに進むように様々な就職活動支援のガイダンス・セミナーを開催し、就職活動本番へ向けての準備をお手伝いしています。ぜひ積極的に参加してください。



月	日	事 項
9	30	第2回就職ガイダンス
10	7	留学生対象就職ガイダンス
	13	ミニ公務員ガイダンス
	14	緑丘企画講座① マナー講座・ES対策講座
	21	緑丘企画講座② 業界研究・会社研究の進め方講座 公務員ガイダンス
	28	業界研究セミナー①（食品業界）
11	4	業界研究セミナー②（金融・保険業界）
	5	公務員座談会
	11	業界研究セミナー③（IT業界）
	25	業界研究セミナー④（製造業界）

月	日	事 項
12	2	業界研究セミナー⑤（北海道を支える企業）
	9	緑丘企画講座③ ワークルールセミナー
	15・16	2020 冬 商大インターンシップ合同説明会
1	13	緑丘企画講座④ (1) キャリア支援センター及び緑丘企業等セミナー ガイダンス (2) 「就活直前対策講座」
2月中		緑丘企画講座⑤ 首都圏就活講座
3	1	キャリア形成支援のための緑丘企業等セミナー開始 (参加企業 330 社を予定)

スケジュールは諸事情により、開催日及び内容が変更になる場合があります。

最新の情報は、キャリア支援センターの電子掲示板・ホームページにて随時お知らせしますので、確認願います。

PICK UP!

緑丘企画講座

就活支援のために開催しています。講座の内容は、企業研究・業界研究講座、マナー講座・ES対策講座等があります。

業界研究セミナー

同一業界から3社のパネラーをお招きし開催しています。今年度は金融・保険業界を含む4業界と北海道を支える企業を予定しております。

公務員関係

公務員ガイダンスでは公務員試験の種類・試験制度・勉強内容・試験スケジュール等を説明します。
公務員座談会では試験に合格した先輩達の体験談を聞くことができます。

緑丘企業等セミナー

学内で開催する合同企業説明会です。商大生の採用に積極的な企業が全国から集まります。内容は1企業につき1講義室で開催する個別セミナーと立食形式の情報交換会があります。

就職相談の実施

キャリア支援センターでは、企業人事経験者やキャリアカウンセラー有資格者等、就職指導経験豊富なキャリアカウンセラーが学生の皆さんの相談に専門的に応じています。

相談内容は、「就職活動の流れ」、「自己分析・自己理解」、「業界・職種選択」、「書類（ES等）の添削」、「面接対策（模擬面接等）」、「内定辞退・内定先絞込み」など多岐にわたります。

※今年度は、Web会議システムを利用した遠隔相談を実施しています。



▲就職相談の様子（遠隔相談）



“小樽テイクアウト” 活躍中！



NPO 法人 EgaO 代表
(江頭ゼミ) 経済学科
3年 山口 駿さん
に聞きました。



★「小樽テイクアウト／Otaru Take-out」の開設を 思い立ったのはいつですか？

4/18日に開設しました。新型コロナウイルスが猛威を振るい、飲食店の経営破綻が相次ぐ中、私たち学生が小樽市の為に出来る事はないかと考えました。オフラインでの会議や作業を行うことが出来ないの、リモート操作によって出来ることとしてwebサイト開設を決意しました。小樽市飲食店のテイクアウト情報を発信し、お客様におうちでお店の味を楽しんでもらいたいと思っており、一方お店側の方には、少しでも経営のサポートになればと考えております。

★開設するにあたって工夫したことは何ですか？

シンプルにわかりやすく情報を届けることです。サイトを見ていただければ分かると思いますが、記事の文字数もそこまで多くないので、必要な情報がすぐに手に入るというのがこのサイトの特徴であり工夫した点です。

★ Web ページ開設後、地域の人からどのような反響がありましたか？

飲食店の方から掲載して欲しいとのお声がけをたくさんいただきました。なるべく早く記事を作成し、お店の方に連絡すると感謝のメッセージをいただき、こちらとしてもお店の役に立っていると実感しております。

また様々なメディアに報道され、アクセス数やユーザー数も増えており、今後に期待しています。

ありがとうございました！これからも小樽の人々の応援をよろしくお願いいたします！

● NPO 法人 EgaO <https://ega-o.org/>

● 小樽テイクアウト http://ega-o.org/otaru_takeout/



樽笑だより を発行しました！

こんにちは、小樽笑店（おたるしょうてん）です！私たちは“関わる全ての人を笑顔に”を活動理念とし、地域活性化サークルとして日々活動しています。例年は、小樽に住む方々をターゲットにした年3回の自主イベントの開催や、ボランティア協力、市内商店街のイベントへの参加など、地域に根差した様々な活動をしていました。

現在は、小樽の小学生がお家で楽しめるような企画を考えています。例えば、謎解きや間違い探しを載せた“樽笑だより”の発行です。謎解きの答えは各SNSの樽笑公式アカウントに掲載いたします。樽笑だよりの他にも、小樽にちなんだ塗り絵を各SNSに掲載しています。

また、樽笑だよりだけでなく小学生向けに紙芝居や折り紙など様々な内容の動画をYouTubeにアップしているので、これらの企画を見てくれた小学生が少しでも楽しんでくれたら幸いです。

小樽笑店のブログにZoomでの活動の様子を載せているので、ぜひ見てみてくださいね♪



Zoomでの活動の様子



Instagram

<https://www.instagram.com/otarushtoten/>



Twitter

<https://twitter.com/otarushtoten>



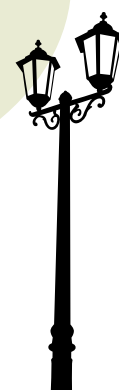
Facebook

<https://m.facebook.com/otarushtoten>



Ameblo

<https://ameblo.jp/otarushtoten>



体育常任委員会の 活動について



はじめまして、体育常任委員会と言います。初めて名前を聞かれた方もいるかもしれませんが、この場をお借りしまして少し私たちの紹介をさせていただきます。

私たち体育常任委員会、通称「体育会」は昼間部自治会の外局として主に体育会系の部活動全28団体を統括しており、毎月の体育館調整会議の運営などの部活動をサポートする立場として活動しています。なかなか皆さんの目に触れる機会が少なく役員の数も大勢いるわけではありません。しかし学内での影が薄いながらも“部活動のために何ができるのか・どうすれば部活動の活動にプラスになるのか”という信念のもとで日々の行動へと繋げております。新HPの作成や傘下団体向け道内遠征補助制度の制定といった日々の活動をサポートする環境の構築、また昨今のコロナウイルス蔓延を受け中止となった従来のオリエンテーションの代わりにオンラインオリエンテーション（部活動・サークル紹介）の開催といったその時々に応じた活動も行っております。

体育会の活動は部活動から寄せられた声を元にしております。たとえそれが小さくとも拾うことが体育会の使命でもあります。小さな事でも構いませんので、少しでも部活動の運営に関わる問題がありましたらぜひ体育会までお寄せください。これからも各部活動が円滑に進むよう力添えができるよう全力で活動して参りますので、今後ともご協力並びにご声援よろしくお願い申し上げます。

第74期体育常任委員会会長 森橋 温登（社会情報学科4年）

●体育会 HP <https://sites.google.com/view/taiikukaicou/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

ピアサポートルームのお知らせ

ピアサポートとは、学生によって行われる学生への支援であり、近年、全国の多くの大学で取り組みが始まっています。学生が学生の相談に乗るため、心理的な壁のない近い距離で向き合えると考えられ、教職員には相談しにくいことも気軽に話し合えるといったメリットが期待されています。

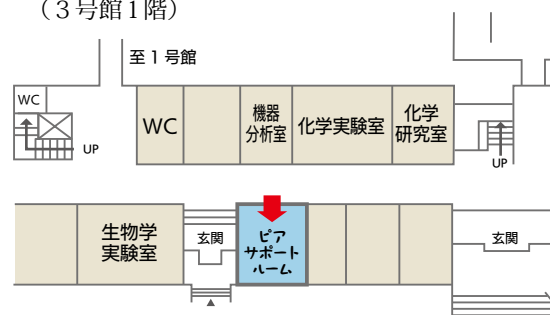
本学のピアサポートは心理学ゼミの活動の一環として行われており、現在はメールでの相談のほか、“ピアサポートルーム（オンライン版）”としてZoomによる何でも相談会を開催し、多くの学生の皆さんにご参加いただいています。

対面授業が開始になった際には、3号館1階のピアサポートルームにお立ち寄りいただき、相談以外にもお気軽に話しかけてください。個性豊かなピアサポーターがお待ちしております。



●ピアサポートルーム

（3号館1階）



アルコールと安全につきあいましょう



コロナウイルス感染症予防のために、今年の前半はコンパなどが少なく、アルコールを飲む機会が少なかった人も多いと思います。今後少しずつ活動範囲が広がり、飲酒の機会も増えてくるかもしれませんが、アルコールの危険性を正しく理解し、その害から身を守りましょう。

してはいけない3つのこと

❌ 1 未成年者飲酒

20歳未満の飲酒は厳禁です。勧めてはいけませんし、飲もうとする人を止めてください。

❌ 2 飲酒運転

自動車だけでなく自転車も原付も飲んだら運転は厳禁です。

❌ 3 アルコールハラスメント

飲酒の強要・イッキ飲ませ・意図的な酔いつぶし・飲めない人への配慮を欠くこと・酔ったうえでの迷惑行為—これらは全てアルコールハラスメントです。してはいけませんし、周囲の人がしているのを見たらやめさせてください。

大学生の適量とは？

大学生を含む若い世代は、飲酒量が増えるとそれに比例して死亡率が上がることが報告されています。大学生は飲酒量が少ない方が害が少なく、飲まないことが最も安全であることが示されています。

また、**たまに**しか飲まないから大丈夫、と思っていませんか。**たまに**しか飲まないけれど、飲む時は大量に飲む、という飲酒行動をビンジ飲酒と言います。日本の大学生で年1回以上ビンジ飲酒を経験した学生はアルコールによるケガが25.6倍も増加することが報告されました。ビンジ飲酒は急性アルコール中毒、ケガ、けんか、犯罪などを引き起こしますし、将来の過剰な習慣飲酒にもつながります。**たまに**飲む時も飲酒量はコントロールしましょう。

飲酒量のコントロールは難しい

アルコールは脳の機能を抑制する(＝マヒさせる)ので、「正しい判断をする」「危険性を理解する」ことが飲酒量が増えれば増えるほど難しくなります。脳のマヒが広がる前に飲酒を止めるようにしましょう。

感染症予防については特に注意が必要

アルコールによって気が大きくなったり判断力が鈍ると、人との距離をとる、手洗いをするなどの感染予防行動がおろそかになりがちです。感染症予防の観点からではできるだけ飲酒しないことが望ましいです。



特別修学支援室と学生何でも相談室のご案内

本学において学生対象の相談室は2つあります。ひとつは障がいのある学生を対象とした「特別修学支援室」、もうひとつは大学生活全般の悩みに対応する「学生何でも相談室」です。

特別修学支援室は、障がいのある学生の皆さんが大学で充実した学びができるよう支援するための部署であり、授業担当教員や学内外の各部署と連携して必要な教育的配慮を計画・実行していきます。

もうひとつの学生何でも相談室にはカウンセラーがおり、学生生活上の悩みにアドバイスを行います。相談の内容は、性格に関すること、友人関係や恋愛関係に関すること、部活・サークルに関すること、アルバイトに関すること、学習・進路に関することなど多様です。「こんなこと相談していいのかな」などと心配する必要はありませんので、悩みの解決のための一つの選択肢として、お気軽に利用していただきたいと考えています。

両相談室の開室時間や予約方法については、新型コロナウイルス対策の状況により変更の可能性がありますので、下記のウェブサイトをご確認ください。

● 特別修学支援室

https://www.otaru-uc.ac.jp/special_support/

● 学生何でも相談室

https://www.otaru-uc.ac.jp/counselling_room/54167/



編集後記

本号では、教職員および学生の皆様の協力をいただき無事学園だよりが完成しました。この場を借りて感謝申し上げます。今後も様々な情報を発信して行きたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(学生支援課)

小樽商大の新鮮な情報を配信！

ブログ「商大くんがいく！」

商大若手職員と学生がタッグを組んで作っている「商大くんがいく！」ブログでは、商大生の活躍はもちろん、学内のさまざまな旬のトピックスがご覧になれます。

https://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai_blog/

